

出産・育児シリーズ第2作

第26回広告電通賞
文部省選定

日本産業映画コンクール奨励賞
中央児童福祉審議会推薦

企画 雪印乳業
製作 桜映画社

はじめての

—生まれて3ヶ月—

赤ちゃん

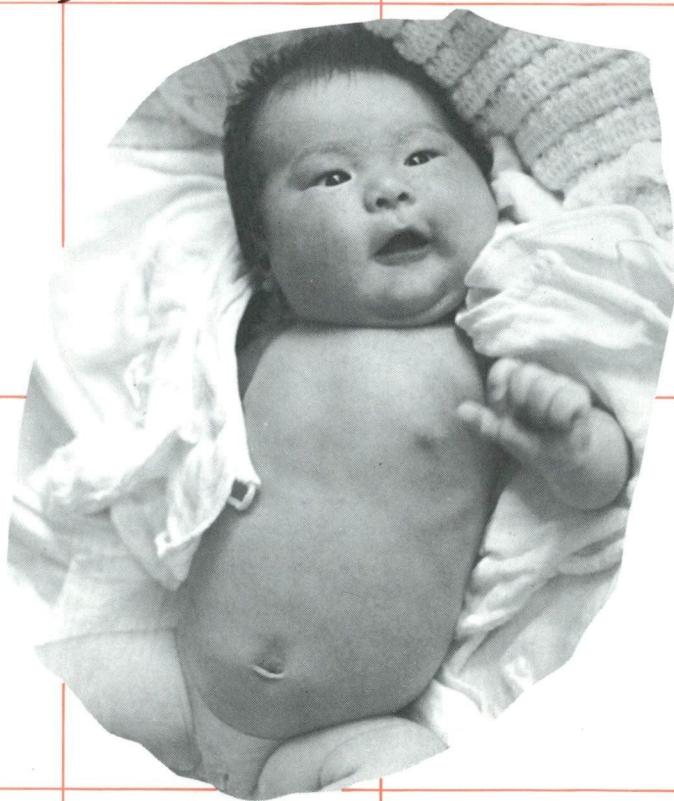
カラー20分 16ミリ 120,000円
VTR 40,000円

● たった今生まれたばかりの赤ちゃん！
尊い個性と限りない未来を秘めながら、
すべてをお母さんの手に委ねています。
それだけにお母さんの責任は重大です。

はじめて赤ちゃんを持ったお母さん、
この新しい生命をどう扱ったらいいのか、
戸惑っていらっしゃるのではないでしょ
うか。

この映画は、そうしたお母さん方に、
出生から3ヶ月までの育児の基本を知っ
ていただくためのものです。

● 健康な赤ちゃんに育てたい、それは誰
しもの願いです。お母さん方に育児に対
する自信を持ってもらえたら幸いです。



国立小児病院副委員長

監修 浅野 秀二

協力 日本赤十字社産院

製作スタッフ

製作	村山英治
	村山英世
脚本	藤原智子
監督	瀬藤弘祝
撮影	三枝弘夫
音楽	長沢勝俊
進行	松原勝三
解説	伊藤 克

製作
配給

桜映画社

東京都新宿区西新宿1-22-1
TEL 03 (342) 5768代表

あらすじ

お母さんのお腹の中の羊水に浮いていた赤ちゃんの身体が、今、はじめて大気に触れました。うぶ声は、赤ちゃんが自分の肺で呼吸を始めた知らせです。呼吸とともに肺がふくらみ、肺に血液が流れはじめます。母体からの栄養を運んでいたヘソの緒も断ち切れ、消化器もその働きを開始します。

こうして赤ちゃんの身体はお母さんから離れてひとり立ちするのです。

はじめての赤ちゃんを持った平川さん。退院近くなり、授乳も大分うまくなりました。お乳は、はじめのうち、とにかく出にくいものです。気長に努力し、時にはマッサージなどしてできるだけ出すようにしたいものです。

平川家の一員となった赤ちゃん。当分はこのベビーベットが住いず。赤ちゃんはなるべく南向きの明るい所に寝かせましょう。室温は18度から25度位が適温。

赤ちゃんが泣き出しました。赤ちゃんは泣き声で空腹を訴えたり、おむつの汚れを訴えます。今のはおむつが汚れたという訴えだったようです。

おむつは、もともとお母さんの手を省くために工夫されたもの。赤ちゃんにはあまり気持ちのいいものではないということを覚えておいて下さい。

また、赤ちゃんはまだ主に腹式呼吸ですからきつくしめないように。

入浴もはじめてのお母さんにとっては大事業。お湯の温度は40度位。

平川さんは経験をこう話します。

「お風呂が一番大変ですね、近所の奥さんに来ていただいたんですが、じっとしている訳じゃないし、手の位置がおかしければ頭がグラグラ動かし、こっちがビクビクすると、赤ちゃんまでビクビクしているんですよ」

今日は満1ヶ月の健康診断。この時期にはまだ首が座っていませんからオンパは禁物です。

体重測定は赤ちゃんの発育状態を知る大きな手がかりになります。普通1ヶ月間は、1日平均30g～40g増えと言われ、20g以下だったら、母乳が足らなかったり、栄養法に誤りがあったり……また病気かも知れないので調べてもらう必要があります。

同じく満1ヶ月の瀬山さんの赤ちゃん。少し伸びが鈍いようです。

瀬山さんはお医者さんから、母乳が少し不足している、ミルクを補うようにすすめられました。

母乳だけで育ってきた赤ちゃんにはじめてミルクを与えると嫌われることが多いものです。舌で哺乳瓶の乳首を押し出してしまういます。

赤ちゃんがなかなかミルクに慣れてくれない時は次の授乳ま

での間隔を少しのばして、お腹をすかせ、ミルクを先に与えるのも一つの工夫です。

1ヶ月以上たったら、そろそろ日光浴をさせましょう。はじめは一日に5分間位ずつ陽に当てます。頭や顔は陽があたぬよう工夫し、2週間位かけて足先から次第に上の方へ陽のあたる部分を広げてゆきます。

日光は、骨をつくるのに大切な要素なのです。

一日10分位外気浴させるのもこの頃からです。皮膚や肺に外気の刺激を与えて鍛えるためです。

こちらは3ヶ月たった小山さんの赤ちゃん。もう感覚器官が大分発達しているようです。おもちゃを目で追います。

知能の発達に応じて適当に相手をすることは大切ですが、つかまひすぎで抱きぐせがつくのもこの頃です。

赤ちゃんをおもちゃにせず、しかもこまやかに触れ合うこと、そのけじめが難しいところです。

生まれてから3ヶ月。それは赤ちゃんが成長していく一つの区切りだと言われます。知恵がつき、人間としての様々な可能性の芽が見えはじめてきます。それをしっかり見守り、大切にのばしてゆきたいものです。

この映画を観て

☆「百聞は一見に如かず」 育児書よりもてっとり早く、頭にすんなり入りました。映画の強みですね。育てる自信ができました。

(板橋区 主婦 25才)

☆核家族化でお姑さんのいないお母さんには、育てるってというのは、お、よそあんなものかというのがわかってとてもいいですね。いざとなった時に困らないように、生まれる前に一度見ておく必要がありますね。

(北区 二児の母 32才)

☆出てくる赤ちゃんがみんな健康的だし、「正しい育児」ということに細かい注意がはられ好感が持てます。

(世田谷区 保健婦)

対 象 成人女子・高校

用 途 はじめて赤ちゃんを持ったお母さん
方に育児についての正しい知識を持
ってもらう。
高校家庭科育児

